

フォトニュース

▶元気に青空を泳ぐこいのぼり。町内では、旧暦で端午の節句をお祝いする家庭も多いようです。猪名川町の子どもたちは、元気いっぱいです！

青空泳げ、こいのぼり！
元気に育て、子どもたち！！



B & G海洋センターで
ヨット乗船体験会を開催

▲4月22日、町B&G海洋センターでセーリングと水辺の安全確保を体験するための「ヨット乗船体験」が開催されました。すぐにヨットの操作に慣れた子どもたち、楽しみながらの体験でした♪今年も同センターでは楽しいイベントを企画しています。



▲梶田功会長から決定書を受け取る福田町長

同センターは全国5位の利用者数を誇るなどのさまざまな実績から、改修にあたってはB & G財団より補助最高額の修繕経費3千万円が交付されることとなり、その授与式が5月9日に町役場で行われました。

「地域海洋センター修繕助成決定書」の授与式
▲年間約8万5千人の皆さんに利用されている町B & G海洋センターは、開設から10年が過ぎ、施設や設備の老朽化が進んでいることから、今年の10月から約5カ月間、大規模改修を予定しています。



水稻苗の出荷が始まりました！

▲JA兵庫六甲猪名川営農支援センターで、水稻苗の生産・出荷が始まりました。町内各地での田植えシーズン到来！秋には美味しい新米が楽しみです♪



楊津小学校



▲自分の顔をよく見て顔の凹凸を色の濃淡で上手に表現しています。
内田 有香さん（4年）



▲友だちをよく見て、一筆一筆、色を重ねいい表情に仕上げています。
内田 哲平くん（3年）

▼手本をよく見て一画一画でいいに書きあげています。
高津 みほさん（5年）



五年 高津みほ

いながわ 歴史ウォーク 110

神仏分離と川辺郡内の動き

仏教が伝来した時、人々は「新しい神」と見ましたが、律令政治体制のもと、大陸の最新文化で「世界宗教」である仏教に日本古来の宗教が組み入れられていきました。

奈良時代からは仏が神を救済し守るために神宮寺が建立されるようになり、神は仏法を守護する存在とされるようになります（鎮守）。平安期には神は仏が衆生救済のために姿を変えて出現したものと考えられ、個別に確定されていきます。

このようにして長い間神仏は一体化、習合してきました。その典型には修験道があり、銀山の神宮寺（三木市伽耶院の末寺）では、神仏習合の名残を見られます。さて、明治の神仏分離は多田院をも



▲銀山の神宮寺

直撃し、慶応4（1868）年4月28日から神人、社僧たちが廃仏作業を開始、6月までかかって仏具・仏像を片づけ、源満仲、頼光、足利尊氏の三基の五輪塔などを裏門外に移し、多田神社と改称しました。梶並に残る文書では、この時多田院御家人たちは、「神主・祭奠の儀は自分たちに仰せ付けを」と願い出ていますが実現しませんでした。

高校生のパワーをもらった
「菜の花満開！！」



▲昨年の秋に猪名川高校の生徒が原地区の畑に菜の花の種をまいてくれました。例年には無い、寒かった冬を乗り越えて、高校生の元氣とパワーをもらったかのように、力強く満開の菜の花が咲きました。



猪名川町の皆さんへ、宮城県からの感謝状です！



▲東日本大震災の被災地宮城県から猪名川町へ、義援金や職員・ボランティアの派遣など、皆さんの支援に對しての感謝状と復興に向けた誓いの言葉が届きました（役場1階ロビーに展示）。今後町では、様々な形での支援を続けていきます。

▼字の形を見てバランスよく、そして力強く書きあげています。
後 翔斗くん（6年）



六年後 翔斗